

次世代に繋ぐ「工場配電」のための協同研究委員会 設置趣意書

ものづくり技術委員会

1. 目的

人手不足が社会問題となっている中、工場で働く電気技術者も例外ではない。企業では急激な世代交代が進展して、人材育成が必要となっている。若手から中堅向けとして発行している単行本「工場配電」が、こうした問題を解決するためのツールとして十分に機能しているか、よりわかりやすい解説が必要ではないかを確認するとともに、ベテラン技術者の知識・経験をまとめる作業を行う協同研究委員会を設置する。

2. 背景および内外機関における調査活動

2011年東日本大震災後の復興事業の本格化、2020年東京オリンピックの開催に向けた建設ラッシュが始まっている。また、製造業では高度成長期に建設された電気設備の更新時期を迎えている。一方で、建設設計や種々のトラブルを経験したベテラン技術者が少なくなっており、これらのニーズに対応する次世代の人材の育成が急務な課題になっている。

前身の「工場の電気設備技術調査専門委員会」は、2011年2月に単行本「工場配電」の最新改訂版を発行した。この「工場配電」は、1970年に初版が発行されて以来、1978年、1989年、2000年、2011年と、ほぼ10年毎に最新の技術・規格・知見を盛り込んで改訂を行ってきている。その後、雷害対策、東日本大震災による工場電気設備の被害から得られた教訓と対策について調査研究活動を実施してきた。

次回改訂の準備として、時代のニーズに応える技術内容の調査を行うとともに、ベテラン技術者の貴重な知識・経験について技術継承をすべく協同研究委員会を設置して活動するものである。

3. 実施事項

以下について行う。

- (1) 「工場配電」の記載内容について、時代のニーズに応じた内容にするための洗い出し、調査
- (2) ベテラン技術者の知識・経験から伝承すべき事項の調査、整理
- (3) 上記活動の中から、更に詳しく調査が必要なテーマの拾い出し

4. 予想される効果

ベテラン技術者の知識・経験を取り入れ、時代のニーズに応じた「工場配電」に改訂することにより、次世代を担う若手・中堅電気技術者への技術伝承、人材育成に活用できる。

5. 調査期間

平成27年(2015年)4月～平成29年(2017年)3月

6. 委員会の構成(職名別, 五十音順に配列)

職名	氏名	(所属)	会員・非会員区分
委員長	廣崎 雅直	(JFEスチール)	会員
委員	砂子田 隆夫	(三菱化学エンジニアリング)	非会員
同	上野 優光	(旭化成ケミカルズ)	会員
同	江藤 計介	(出光興産)	会員
同	川田 祐嗣	(三菱電機)	会員
同	木村 文陽	(三菱化学)	会員
同	小林 昭信	(MEIDEN MALAYSIA)	会員
同	近藤 努	(富士フイルム)	非会員
同	田中 三郎	(GSユアサ)	会員
同	塚原 誠	(東京電力)	非会員
同	永野 浩一	(日立製作所)	会員
同	成田 俊雄	(明電舎)	非会員
同	成毛 喜一郎	(東京ガス)	会員
同	西 隆男	(旭化成)	会員
同	坂東 誠	(坂東エネルギー・環境研究所)	会員
同	水越 孝佑	(六本木エネルギーサービス)	会員
同	山崎 直哉	(ジェイ・パワーシステムズ)	会員
幹事	野崎 欽也	(富士電機)	会員
同	佐々木 伸昌	(旭化成)	非会員
幹事補佐	倉田 智成	(東芝三菱電機産業システム)	会員

※非会員に関しては入会検討を要請中

7. 活動予定

委員会(調査含む) 6回/年

幹事会 1回/年

8. 報告形態

産業応用フォーラム

9. 活動収支予算

収入 0円

支出 0円

運営に必要な費用はその都度清算することとし, 会費の形はとらない。